

科目名	英語講読Ⅱ (英語論文読解) English Reading Ⅱ		担当教員 (研究室番号)	ドライデン いづみ (502)		教員への連絡方法 (メールアドレス)		idumi.doraiden@mcn.ac.jp				
履修年次	1年次 後期	科目 区分	教養・基礎科目		選択 区分	必修	単位数 (時間)	1(30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	可
											オープンクラス	可
科目目的	長文読解と内容理解に必要な英語の基礎的文法や語彙の知識を身につける、英語のパッセージがどのように展開されていくかを理解する。											
ディプロマ・ポリシー (DP)	主要なDP	C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。(技能・表現)										
	関連するDP	A 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。(姿勢・態度) B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解)										
到達目標	1. 医療・健康・社会・文化等に関する英文を読み、必要な語彙・文法知識を活用しながら、文章の主題、要点、論理展開及び筆者の意図を正確に理解することができる。 2. TOEFL・IELTSで用いられるアカデミックな英文や課題に取り組み、Skimming、Scanning、Main Idea、Inference等の読解方略を活用して、必要な情報を適切に読み取ることができる。 3. 英文から得た情報を整理・要約するとともに、その内容について、根拠を示しながら自らの考えを英語で説明することができる。 4. Readingを中心としてListening、Writing、Speakingを関連づけた活動を通して、TOEFL・IELTSを含む国際的・学術的場面で必要となる基礎的な英語運用能力を身につけることができる。 5. 自らの英語力と課題を振り返り、将来の国際交流、海外研修及び学術活動等を見据えて、主体的・継続的に英語を学習することができる。											
成績評価方法 (基準)	毎授業小テスト【毎回小テストを実施：15回×4点（満点）＝60点（満点）】60%、期末試験 40%（40点）を基本とする。原則として総合評価60%以上を合格とする。											
再試験の有無と基準等	・有：再試験は不合格者全員に対して実施する。											
教科書	授業時にプリント及び必要な教材を配布する。医療・健康・社会・文化等をテーマとする英文資料のほか、TOEFL・IELTS形式のReading、Listening、Writing、Speakingに関連する教材を適宜使用する。											
参考書等	授業中に適宜紹介する。											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	学生には、英文を単に日本語に訳すことを目的とするのではなく、「何が書かれているか」「なぜそのように述べられているか」「自分はどのように考えるか」を意識しながら主体的に英文を読むことを期待する。また、自らの英語力の強みと課題を把握し、授業外においても語彙の復習、英文読解、Listening等に継続的に取り組み、自ら学習方法を選択・調整する姿勢を身につけることを期待する。											
備考	TOEFL・IELTSについては、特定のスコア取得のみを目的とするのではなく、学生が現在の英語力を把握し、今後の国際交流、海外研修、学術活動及び生涯にわたる英語学習につなげるための学習教材として活用する。											
回	学習項目				学習内容				主担当 教員	授業 方法		
1回	Introduction & English Skills Check				授業目標、TOEFL・IELTSの概要、Readingを中心とした英語4技能について理解する。簡易診断小テストにより現在の英語力を確認する。				ドライ デ ン	講義 演習		
2回	Reading Strategies				小テストからSkimmingとScanningを学び、英文から必要な情報を効率的に読み取る。				ドライ デ ン	講義 演習		
3回	Main Idea & Supporting Details				TOEFL・IELTS形式の英文小テストを用いてMain IdeaとSupporting Detailsを識別する。				ドライ デ ン	講義 演習		
4回	Vocabulary in Context				小テストにより文脈から未知語の意味を推測する方法、語形成、医療・健康に関連する語彙を学ぶ。				ドライ デ ン	講義 演習		
5回	Understanding Academic Texts				小テストでアカデミックな英文の構成と論理展開を理解する。				ドライ デ ン	講義 演習		
6回	Inference & Author's Purpose				小テストで明示されていない情報を推論し、筆者の意図・立場を読み取る練習をする。				ドライ デ ン	講義 演習		
7回	TOEFL Reading Practice				TOEFL形式のReading問題小テストに取り組み、時間を意識した読解方法を実践する。				ドライ デ ン	講義 演習		
8回	IELTS Reading Practice				IELTS形式のReading問題を通して、情報検索・要旨把握等の読解力を小テストで確認する。				ドライ デ ン	講義 演習		
9回	Reading & Listening				同一テーマについて英文を読み、関連する英語を聞き、複数の情報を統合する。小テストで理解度を確認する。				ドライ デ ン	講義 演習		
10回	Reading & Summary Writing				英文の重要情報を選択する力を小テストで理解し、簡潔な英語で要約する方法を学ぶ。				ドライ デ ン	講義 演習		
11回	Reading & Opinion Writing				英文の内容を踏まえ、小テストで理解度を確認し、具体例を示しながら自分の意見を英語で表現する。				ドライ デ ン	講義 演習		
12回	Reading & Speaking				読んだ内容について小テストに取り組み、ペア・グループで英語による意見交換を行う。TOEFL・IELTS Speaking形式にも触れる。				ドライ デ ン	講義 演習		
13回	Integrated English Skills				Reading、Listening、Writing、Speakingを組み合わせた統合型小テストに取り組む。				ドライ デ ン	講義 演習		
14回	Comprehensive TOEFL/IELTS Practice				TOEFL・IELTS形式の総合小テストを行い、学習成果と今後改善すべき点を確認する。				ドライ デ ン	講義 演習		
15回	Review, Reflection & Future Learning				授業全体を振り返り、英語力の変化を小テストで確認する。今後の英語学習及び国際的・学術的活動につながる個人学習目標を設定する。				ドライ デ ン	講義 演習		

学 習 課 題
1～15回目事前課題：自分の英語学習の目標と課題を記述しておく。 1～15回目事後課題：各小テストから学んだことや重要語句を整理し、段落ごとの要点を英語でまとめておく。また、小テストにおける誤答を分析し、自分の弱点を記録して、次に活かせるようにしておく。

実務経験を活かした教育の取組